

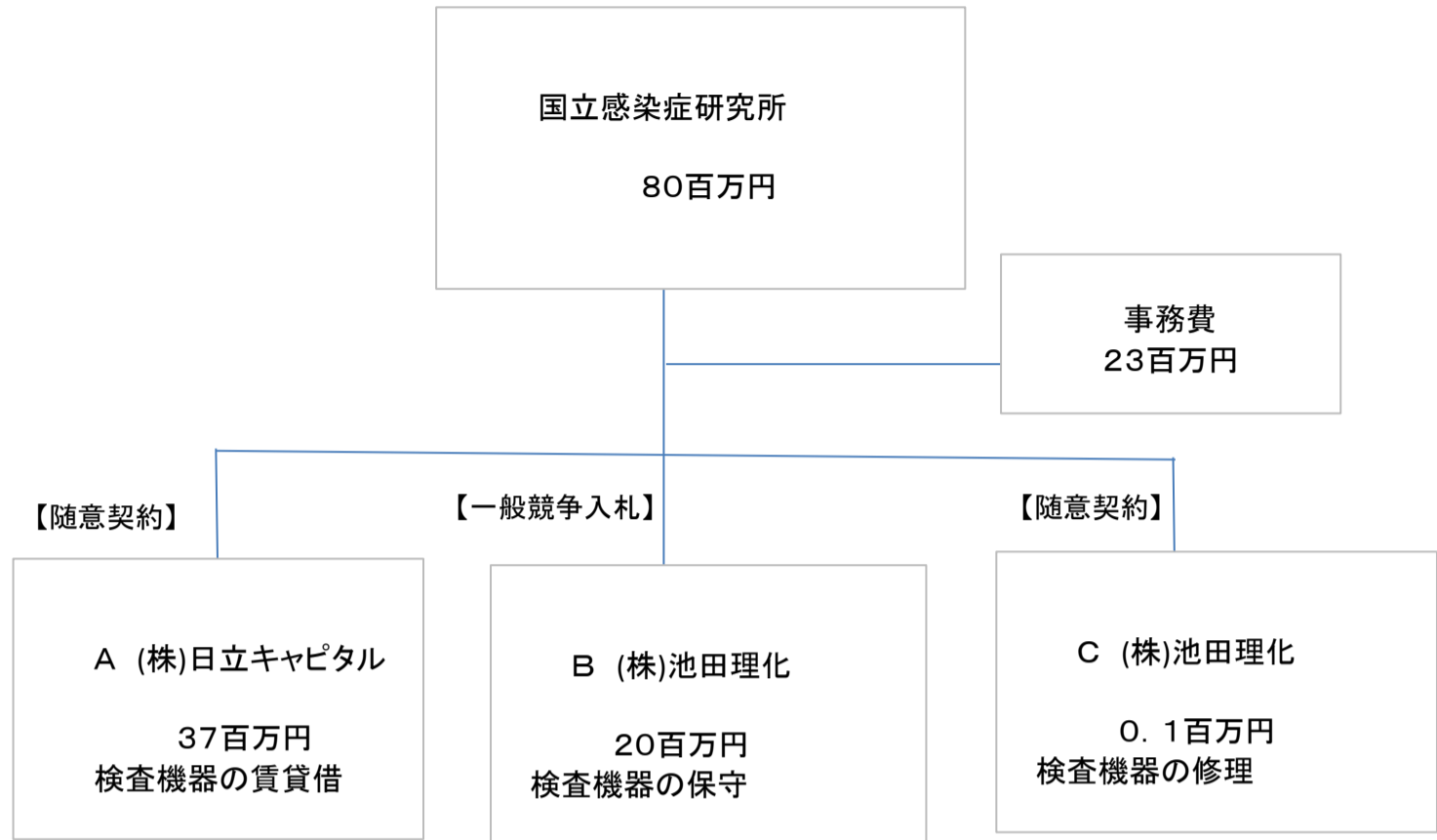
平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	国立感染症研究所共同利用型高額研究機器整備費	担当部局庁	国立感染症研究所	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成5年度	担当課室	総務部会計課	課長 星野 真			
会計区分	一般会計	施策名	VI-3-4 国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—	関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	当所の事業やその他研究機関との共同利用を通して実験の効率化と科学技術推進を図る						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	当所の共同利用型高額機器として、細胞自動解析分離装置及び超高分解能走査電子顕微鏡を整備						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	80	80	80	79	79
		補正予算					
		繰越し等					
		計	80	80	80	79	79
		執行額	80	80	80		
	執行率(%)	100.0%	100.0%	100.0%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	設備機器の管理運用のための経費であり、定量的な指標は示せない。	成果実績	—	—	—	—	—
		達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	細胞解析、電顕合計使用回数が1004件 (79,860円/回)	活動実績 (当初見込み)	回	細胞所内371回 所外 195回 電顕98検体	細胞所内541回 所外281回 電顕140検体	細胞所内577回 所外 283回 電顕144件	—
					細胞所内541回 所外281回 電顕140検体	細胞所内577回 所外 283回 電顕144件	細胞所内577回 所外 283回 電顕144件
単位当たりコスト	(79,860円/回)	算出根拠	細胞解析、電顕合計使用回数が1004件 予算額8000万円/1004=79,860円				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	機器借料	50	50				
	機器保守料	25	25				
	消耗品費	0	0				
	賃金	4	4				
	計	79	79				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>支出は5年リースの機器代と機器保守料、機器のオペレータの非常勤職員給与、および関連消耗品費からなっており、機器リース料は契約初年度に一般競争入札により業者の選定を行っている。機器の保守料についても同様に一般競争に付している。機器のリース料については、リース期間中の見直しの余地は乏しいが、機器の切り替え時期には機器の必要性の観点から再リースも含め費用対効果を最大化するよう検討する。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>化学系の最先端機器を共同利用型機器として整備するために必要な経費であるが、事業の必要性及び執行の観点からは概ね妥当であり、引き続き効率的な執行に努めること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.(株)日立キャピタル			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
借料	検査機器(電子顕微鏡等)の賃貸借	37			
計		37	計		0
B.(株)池田理化			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務	検査機器の保守	15			
計		15	計		0
C.(株)池田理化			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務	電子顕微鏡修理	0			
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)日立キャピタル	検査機器(電子顕微鏡等)の賃貸借(H20.10~H24.9複数年契約)	36.94	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)池田理化	検査機器の保守	14.94	1	100
2	(株)日立ハイテクフィールドインダ	検査機器の保守	5.34	1	100
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)池田理化	電子顕微鏡修理	0.1	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					